

一人ひとりが見守り隊のしくみ



日常業務の中で徘徊と疑われる方を発見した場合は、社会福祉協議会、警察にお知らせください。

心配ごと相談

●北秋田市社会福祉協議会
心配ごと相談所



62-6868
月～金曜日
10:00～12:00

※皆さんの身近な相談窓口としてご利用下さい。
相談者の方と一緒に考えたり、専門機関への橋渡しをいたします。

介護・介護保険関連の相談

- 北秋田市地域包括支援センター 69-7061
- たかのす社協居宅介護支援事業所 63-1664
- あいかわ社協居宅介護支援事業所 78-3166
- もりよし社協居宅介護支援事業所 72-3494
- あ に社協居宅介護支援事業所 82-3374
- ケアタウンたかのす居宅介護支援事業所 60-0505
- 北秋田市社協相談支援事業所

※介護に関する悩みや相談を受付します。
介護保険サービスについての相談や計画の作成・関係機関との連絡調整も行います。

ご家族登録は

ご本人の写真をお持ちになり、北秋田市社会福祉協議会にお越し下さい。
あらかじめ登録しておくこと、いざ!というとき、即対応できます。

協力員の登録は

- ① 捜査協力、目撃情報の提供に協力できる方は、所定の用紙に必要事項を記入して事前登録してください。
(用紙は各地域福祉センターにあります。)
- ② 右のQRコードからも登録ができます。
(登録用のメールが送られてくるので画面の指示に従ってください)
読み取り機能がない方は
kitashakyo26-ent@pwa.e-msg.jpへ
- ③ 北秋田市社会福祉協議会ホームページからも登録ができます。

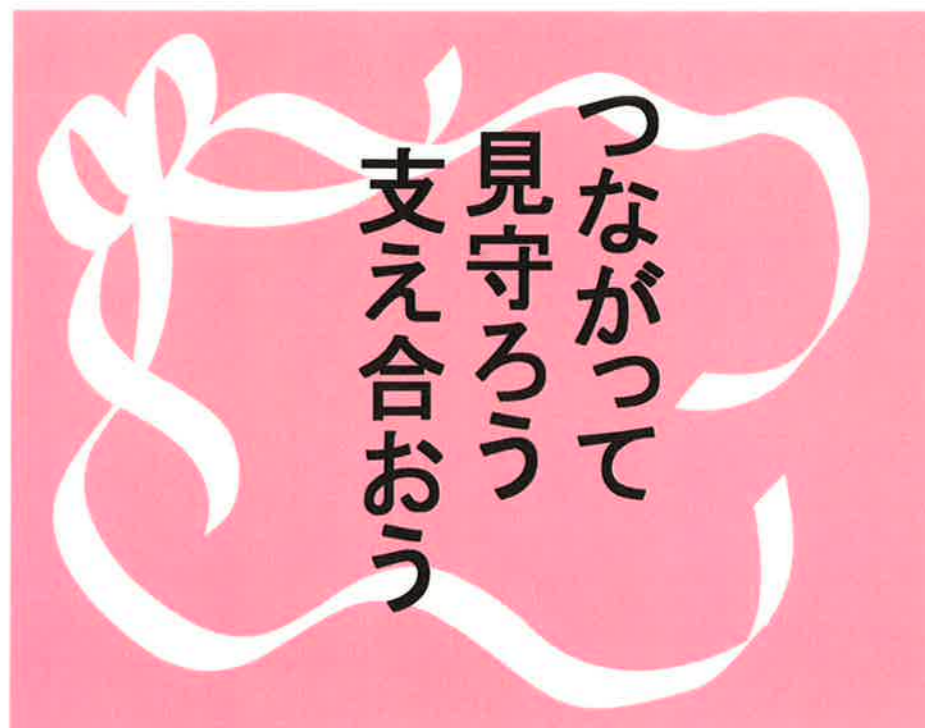
QRコードが入ります

発行：北秋田市社会福祉協議会

〒018-3312 秋田県北秋田市花園町16番1号
電話 0186-69-8025 FAX 0186-63-2460
URL <http://www.kitaakita-shakyo.or.jp>

「一人ひとりが見守り隊」相談先一覧

連絡機関	電話	受付時間
北秋田警察署	62-1245	24時間
北秋田市地域包括支援センター	69-7061	月～金曜日 8:30～17:15
北秋田市社会福祉協議会本所	69-8025	年中無休 8:30～17:30
たかのす地域福祉センター	63-2109	月～金曜日 8:30～17:30
あいかわ地域福祉センター	78-3166	
もりよし地域福祉センター	72-3494	
あ に地域福祉センター	82-3374	



「一人ひとりが見守り隊」
—認知症高齢者等見守りネット事業—

認知症は、誰にでも起こる可能性のある脳の病気です。

単なる物忘れとは違い、若くして発症することもあります。

認知症の人はご自身の変化に不安を感じ、苦しんだり悩んだりします。

ご家族もまた、精神的負担が大きくなります。地域の方が認知症を正しく理解した上で、ご本人やご家族を温かく見守る取り組みが大切です。



社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会

認知症ってなあに??

認知症は、いろいろな原因で脳の働きが衰えていく脳の病気です。そして様々な障害が起こり、生活に支障をきたすこととなります。はじめはちょっとした物忘れから始まります。日頃から受診しているかかりつけ医は、普段の状況をよく知っており、身近な相談窓口ですので、「おかしい。」と気づいたら早めに相談しましょう。

どんな症状が起きるの?

性格、環境、人間関係など様々な要因もからみあって症状にあらわれます。次のような症状が増えたら「認知症」の可能性がります。

毎日の小さな変化を見逃さないことが大切です☆



記憶があいまい

- 物の名前がでてこない ● お金や物をとられたと人のせいにする
- 覚えたことをすぐ忘れてしまう ● 同じことを何回も言う、聞く
- しまい忘れ、置き忘れが目立つ ● 同じ物を何度も買ってしまう

今までできていたのに

- ガス栓や蛇口を閉め忘れる
- 日常的な漢字を忘れたり、計算を間違える
- 整理整頓ができなくなる
- 簡単な機械、器具の使い方がわからなくなる
- 金銭感覚がにぶくなったり、しまった場所がわからない



どうもやる気が

- 身だしなみに関心がなくなる
- 一日ただボーッと過ごす
- 外出が嫌になる
- 趣味や習い事、人付き合いに関心がなくなる
- 日頃の日課（顔洗い、歯磨き等）をしなくなる

日付や場所の感覚が

- いつも通る道で迷子になる
- 曜日や時間がわからない、関係ない
- 家族、親しい人の名前や顔がわからなくなる



予防方法はあるの?

生活習慣病予防が認知症予防にもつながります

- 運動をしましょう
ウォーキングもいいですね
- 塩分控えめ、バランスのよい食事
青魚、野菜、果物をたくさん食べましょう
- 脳を活性化しましょう
友人とのおしゃべりもいいですね



認知症と老化によるもの忘れのちがいは??

認知症のもの忘れ	単なるもの忘れ
<p>さっき食べたばかりなのに...</p> <p>体験のすべてを忘れる</p> <p>ごはんまだだべか?</p>	<p>あの時トイレさ走って行ったばって、あの後どごさ置いたべな...</p> <p>体験の一部を忘れる</p>
<p>はっ! なんだけが?</p> <p>もの忘れの自覚がない</p> <p>あんなに頼んだのに...</p>	<p>んだ!! 鍵は戸さ挿したまんまだけじゃ!</p> <p>もの忘れの自覚がある</p>
<p>あんたどこの人だがい?</p> <p>親しい人やよく行く場所がわからなくなる</p>	<p>あの歩いている人は、隣のハルさんだな</p> <p>親しい人やよく行く場所は忘れない</p>
<p>え? いきなり?</p> <p>性格に変化がある</p> <p>おめ、おらのお金盗ったべ?</p>	<p>誰か私の財布を知らないかい?</p> <p>性格は変わらない</p>
<p>ん~とここはどこ...今は何時...</p> <p>自分の今いる場所や時間がわからなくなる</p>	<p>ここは右だったかな...</p> <p>自分の今いる場所や時間がわかる</p>

徘徊って??

徘徊というのは、認知症の症状の一つです。「何らかの目的」があって歩き始めて迷ってしまったり、何かじっとしてられないような理由があって歩き回り、自分の家がわからなくなり道に迷ってしまうことです。

徘徊は急いで見つけないと危険です。

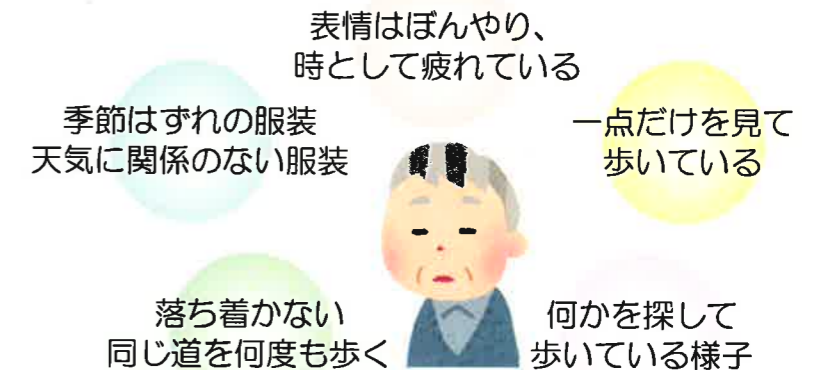
どうして危険なの?

道に迷ってうろろしている間に...

- 水分不足で体が衰弱してしまったり
- 車にひかれそうになったり
- つまずいて転んで骨を折ったり
- 自転車走行はもっとも危険...蛇行運転

時には命に関わることもあるのです。

徘徊している可能性のある人



徘徊している方を見かけたら!

- まず、やさしく声をかけましょう。
- 行方がわからなくなならないように見守りましょう。
- 徘徊をしている方は、長時間歩いていることもあるので、水・お茶などの飲み物をすすめてください。
- 自宅等の連絡先が書かれた物を持っていたり、身につけたりしている場合は、記載先へご連絡下さい。

